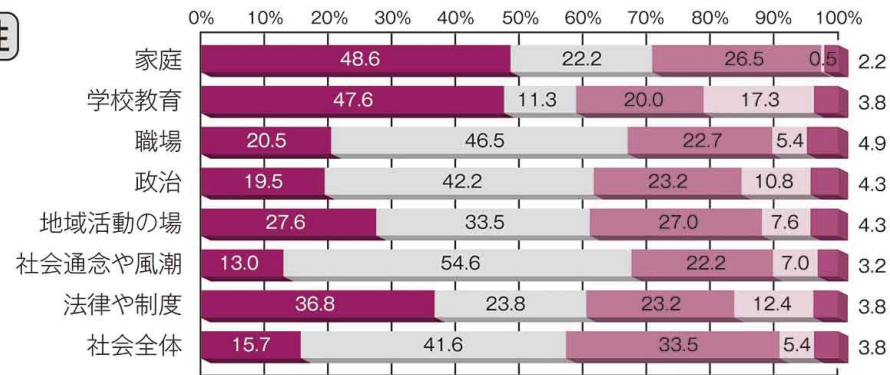
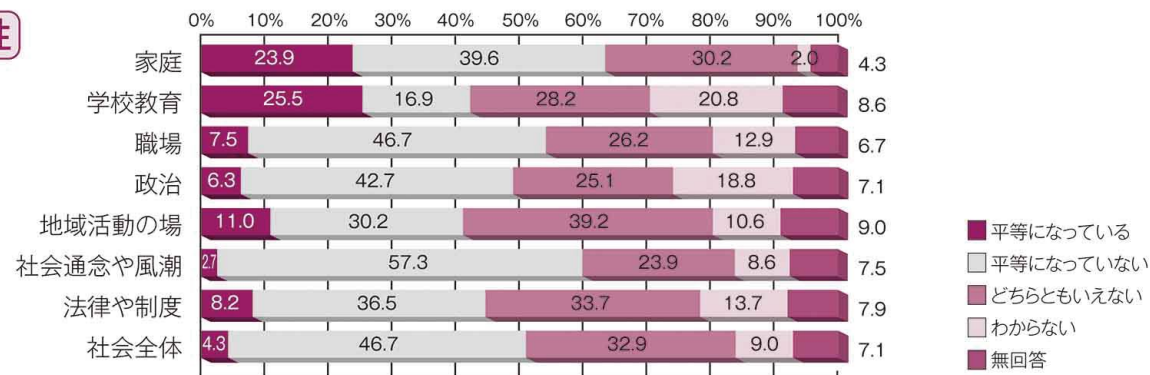


2. 次に挙げる8つの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか？

男性



女性



ここでは、8つの分野について男女が平等になっているかを調査しました。「平等になっている」という回答のうち、男性で最も多いのは「家庭」で48.6%（前回42.0%）、女性で最も多いのは「学校教育」で25.5%（前回45.2%）となっています。今回の調査では、前回の「教育」という項目を「学校教育」に置き変えて質問したところ、男女共に「平等になっている」が20ポイント以上減少しました。

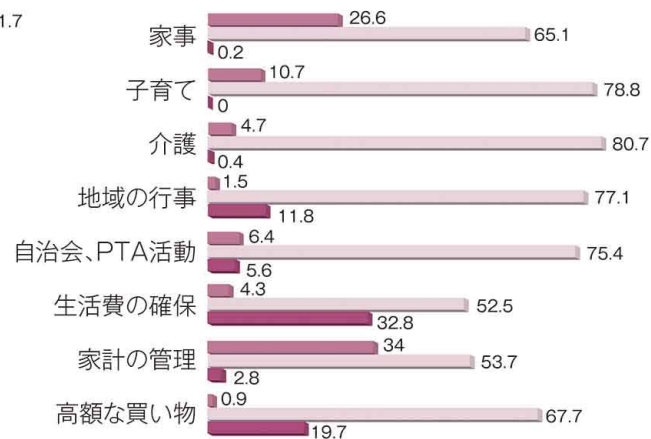
反対に、「平等になっている」が最も少ないのは「社会通念や風潮」で、男性が13.0%（前回11.9%）、女性が2.7%（前回4.4%）となっています。女性の方が「平等になっていない」と感じている割合が高くなっています。

3. あなたの家庭では次のことについて、主に男性、女性のどちらが行っていますか？

現状



理想



■主として女性 ■共同して分担 ■主として男性 全体で見た割合(%)ですが、無回答は除いています。

「介護」や「子育て」、炊事・洗濯・掃除等の「家事」など、8項目の役割分担について現状と理想を調査しました。現状では「家事」、「家計の管理」、「子育て」、「介護」については主に女性が行い、「高額な買い物」や「生活費の確保」については主に男性が行っている家庭が多いようです。

理想では、すべての項目で男女が共同して分担することが望ましいという結果になりました。

「男女共同参画」あなたはどう考えますか？ ～ 男女共同参画に関する町民意識調査結果から ～

町では、平成15年から5年置きに男女共同参画に関する町民意識調査を行っています。この調査は、男女共同参画社会の実現に向けて、今後町が取り組むべき施策に皆さんの考え方を生かすために実施しています。

平成25年に実施した調査の結果がまとまりましたので、概要についてお知らせします。

調査期間／平成25年12月5日～24日

調査対象／町内在住の満20歳以上の男女1,200人

抽出方法／住民基本台帳から、男女比・年齢比がほぼ同じになるよう無作為に抽出

調査方法／郵送配布

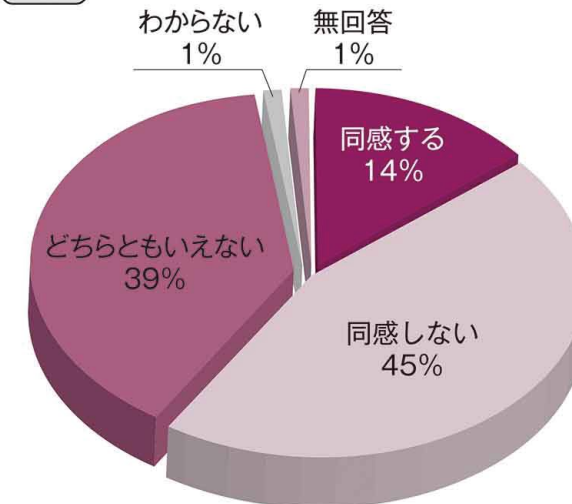
回答数／1,200人のうち467人から回答をいただきました。回答率は38.9%で、男女比では男性39.6%（185人）、女性54.8%（256人）、不明が5.6%（26人）でした。

前回調査との相違点／前回の調査では少子高齢化問題の質問項目がありましたが、今回の調査では外し、家庭生活の現状と理想、ドメスティック・バイオレンス（DV）の質問項目を多く取り入れました。

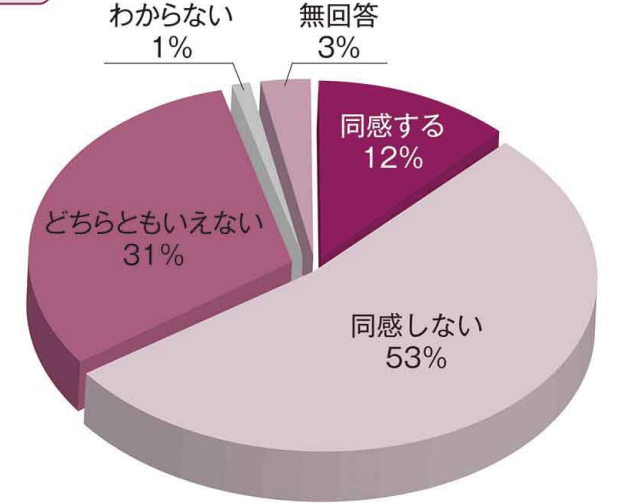
調査結果／調査では26の項目について質問しましたが、ここでは主な項目について結果をお知らせします。

1. 「男性は仕事」、「女性は家庭」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感しますか？

男性



女性



前回の「男は男らしく・女は女らしく」という質問項目を変更しました。「男性は仕事」、「女性は家庭」という考え方に「同感する」と答えたのは男性が14%、女性は12%と、男女共に同感すると回答した人の数は少なく、逆に「同感しない」は男性が45%、女性が53%と割合が高くなっています。